

高品質でおいしい 富山米を食卓へ

「ほおばる幸せ。富山米」



今年も気象変動のなかで、適期の田植えや溝掘り・中干しなどを進めていただきました。
1等米比率90%以上を目指して、引き続き技術対策の徹底をお願いします！

対策のポイント

- ① 刈取りまでの活力維持 ② 適期の刈取り ③ 適正な乾燥調製

「高品質で美味しい富山米」への総仕上げ

～めざせ! 1等米比率90%以上～

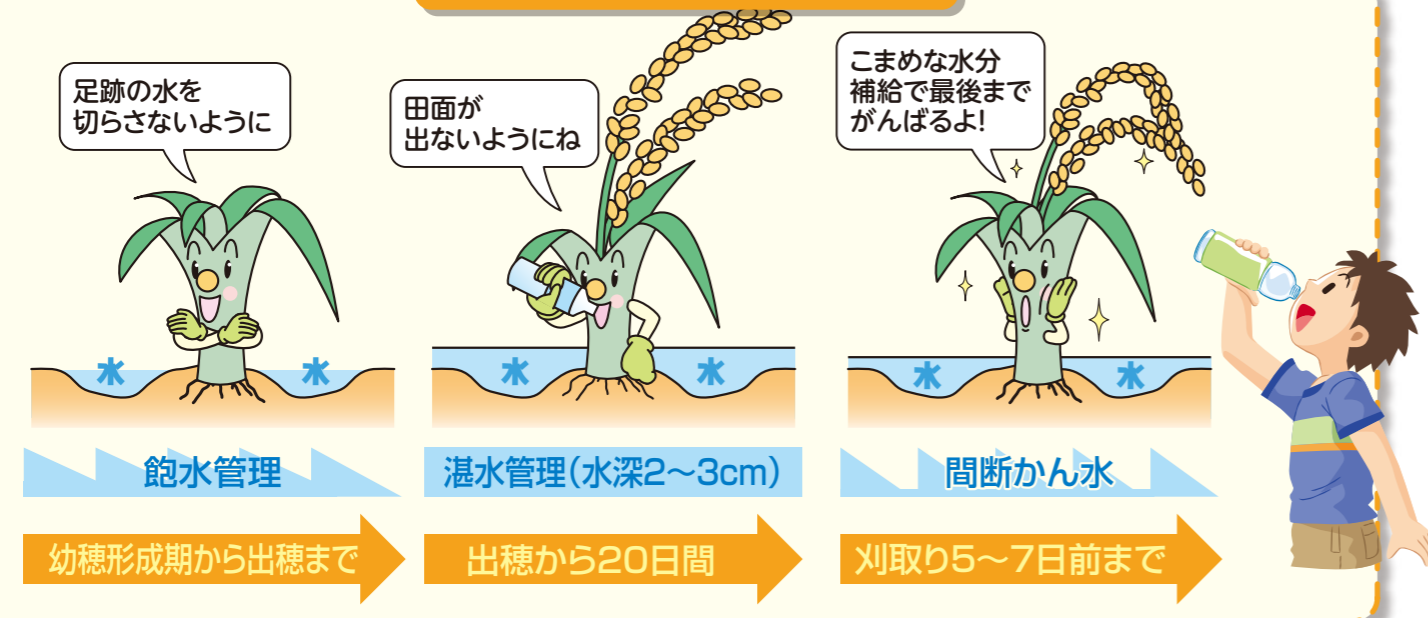
1 刈取り直前まで稲体活力を維持!

1 こまめな水管理

- 幼穂形成期以降は**飽水管理**
- 出穂後20日間は**湛水管理**
- 刈取り5～7日前までは**間断かん水**
(フェーンが予想される場合は、事前に入水)



水管理のイメージ



2 穂揃期の葉色を4.2～4.5(砂壤土は4.5)に誘導

- 出穂7日前に**必ず葉色診断**
- 肥効調節型基肥栽培で葉色が薄い場合は**出穂の3日前までに窒素成分で0.7～1.0kg/10aを施用**
- 分施肥栽培では、2回目の穂肥を土壌に応じて確実に

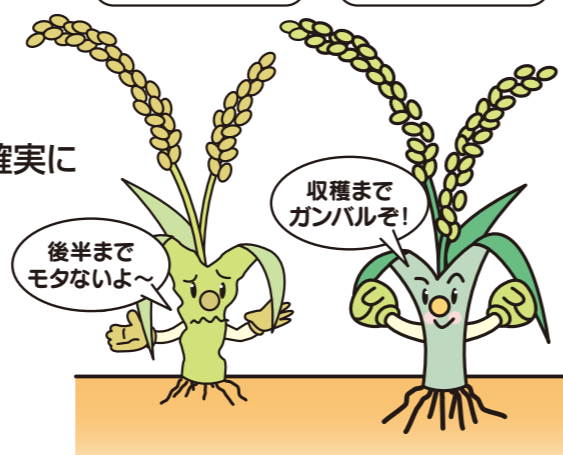
穂揃期の葉色が薄いと、暑さに耐えられず、



背白粒 や 基白粒

が発生します!

葉色4.0 葉色4.5



穂揃期の田んぼでは…

2 適正作業で胴割れ防止!

1 気象に応じた適期刈取り

- 高温で収穫が早回っても対応できるよう、**収穫・乾燥調製の準備**
- 降雨が続く場合にも備えて手溝の点検



刈取り開始の目安

登熟期間の気温	積算温度	糊黄化率
平年並み	1,000～1,050℃	85～90%
高温	950℃	80%

高温だから、黄化率80%で刈取り開始

早く来てくれて、ありがとう



2 慎重な乾燥

- **毎時乾減率0.8%以下**でゆっくり乾燥
- 収穫時の**籾水分**に応じた乾燥

収穫時の籾水分	乾燥作業のポイント
25%以上	① 搬入後、2～3時間の通風乾燥 ② そのあと、二段乾燥 (籾水分17%で一旦停止、半日後再乾燥)
20%未満	機種標準マイナス5℃の送風温度で乾燥

- 仕上げ**玄米水分は14.5～15.0%**に

- ◆ **1.9mmふるい目の使用**で選別を徹底
- ◆ 施設や設備の点検・清掃を徹底して異品種・異物の混入を防止



3 カメムシ防除で斑点米発生防止!

- 穂揃期の防除は遅れずに
- 「てんたかく」など早生は穂揃期と傾穂期の**2回防除を実施**
- 防除後もカメムシの密度が高い場合は追加防除
- 防除間隔は7日を目安に(間隔が長くないように注意)

近年、増えています



アカヒゲホソミドリカスミカメ

アカスジカスミカメ

消費者の心をつかむ富山米のブランド化を!

信頼される安全な米づくり

消費者に選ばれる富山米を安全に生産するため、「とやまGAP」に取り組みましょう

まずは、
自己点検!



<目的と取組例>

◆安全な農作物の生産

農薬・肥料の適正な使用や管理、生産履歴記帳など

◆環境の保全

廃棄物の適正処理、農薬散布後の1週間止水管理など

農薬使用の際は、
ラベルを確認

土づくりは継続的に

◆土づくり資材の散布

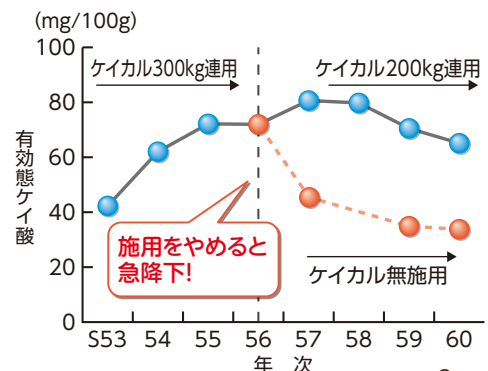
- ケイ酸は、病害虫や倒伏に強い稲体を作ります
- 土づくり資材は、毎年施用

◆有機物の施用

- 稲わら、籾殻は焼却せずにすき込もう
- 堆肥や発酵鶏ふんの施用、または緑肥作物の栽培

◆深耕の実施

- 秋耕しと春耕しの2回がけで、**現状+3cmの深耕**
- 秋耕し後は排水溝を設け水はけを良くし、稲わら等の腐熟促進



資材の連用と中断による土壤中有効態ケイ酸の推移 (沖積壤土、S61富山農試)

土づくりの継続を
お願いします

秋の農作業安全運動

秋の農繁期には、コンバインによる事故が毎年多く発生します
余裕をもった作業計画を立てるとともに、事故防止対策を徹底しましょう

- 巻き込まれにくい服装をする
- コンバインの詰まりを取り除く時は、**必ずエンジンを切る**
- 手こぎ作業時は、手こぎ位置や足場を安定化させる
- 点検・整備は毎日行う
- 万一の事故に備え労災保険に加入する

無事にカエろう
みんながあなたを待っている

